

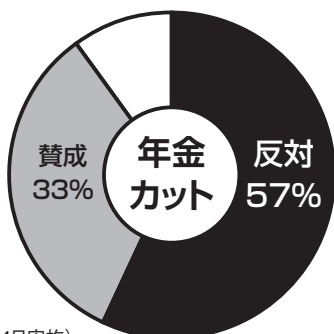
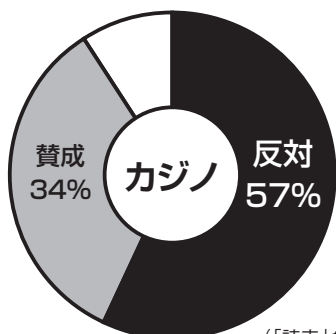
年金、カジノ、TPP...

暴走政治

こんな

安倍政権

続けていいのでしょうか



(「読売」12月2～4日実施)

国会で強行採決を連発した安倍政権。いくら多数をもつ与党でも、なんでも数の力で押しとおすことは許されません。

日本共産党

おごり高ぶる自民・公明

“国民無視”にも程があります

またもや給付をカットする年金の改悪、ギャンブル依存症をふやすカジノ法、日本の経済主権を多国籍企業に売りわたすTPP—国民の大多数が反対した3悪法をゴリ押しした安倍政権。国民を無視する暴走に歯止めがきかなくなっています。一刻も早く退陣させましょう。

「維新、政権と蜜月深まる」

(「日経」12月19日付)

臨時国会で維新は、「与野党が対立した法律に軒並み賛成。政権側も維新が推進するカジノ法の成立を急ぐなど、蜜月ぶりが深まっている」とメディアも報道。暴走政治の推進役=維新の正体ははっきりしました。

「野党と市民の共同」に希望あり

新しい政治へ、日本共産党はがんばります

夏の参院選で、32の1人区のうち11区で勝ったのに続き、秋の新潟知事選では、楽勝ムードだった自公推薦候補に6万票以上の大差をつけて勝利。野党と市民が、大義の旗をかかげ、本気の共

闘をガッチリ組めば、自公政権をたおせます。政治は変わります。

日本共産党は、来たるべき解散・総選挙で野党共闘を成功させるために全力をあげています。



2016年12月 号外

発行 ● 日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
☎03-3403-6111 FAX03-5474-8358